

発 言 通 告 書 総 括 表

平成20年 第3回 定例会 代表質問

	発 言 者	発 言 事 項	発 言 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1	桜井議員 (自民)	平成19年度決算と財政健全化判断指標について 『都区のありかた検討委員会』について 旧庁舎の跡地利用について 高齢者総合サポートセンターについて 長寿(後期高齢者)医療制度について	課題と今後の財政運営について区長の見解を問う。 検討委員会の現時点の検討状況と課題について パブリックコメントに寄せられた区民の様々な要望に区はどのように応えていくのか 高齢者総合サポートセンターの機能と役割について 持続可能な安定した保険制度の確立に向け区民により身近な地方自治体として本区は何をすべきか	区長及び関係理事者
2	木村議員 (共産)	1、介護保険制度について 2、区立図書館について 3、地球温暖化対策について	2000年に発足してから、来年は3回目の見直しの時期となる。人材確保、サービス基盤整備、保険料・利用料などの点にそって改善の提案をおこなう。 指定管理者制度を導入し、1年半になろうとしている。1年間で入館者数100万人という華々しさの一方、問題点も少なくない。「図書館評議会」の報告や、利用者の声をふまえ、専門性・安全性などのいくつかの点にてらして今日の時点での評価を問う。 地球温暖化対策に取り組むことと、持続可能な経済・社会づくりは一体である。その認識にたって、温暖化対策に取り組む上で、大切だと思われる基本問題(都市再生との関わり、数値目標の位置づけなど)で区長の見解を問う。	区長、及び関係理事者
3	大串議員 (公明)	住民に身近な「都市計画」を目指して！	1)10年を経過する「都市計画マスタープラン」の改定について 2)今日、都市のハード、ソフト両面の変革が必要とされている。そこで住民主体のまちづくりを可能とする(仮)「まちづくり条例」の策定を提案する。 3)身近な「都市計画」を目指して 地区計画策定のためのわかりやすい手引きを作成してはどうか 行政の持っているまちづくりに関する地域ごとの情報を地域ごとに提供してはどうか 都市計画(まちづくり)教育について	区長並びに関係理事者